

にこナースが生まれるまで

平成23年2月2日
新潟県立看護大学リポジトリ研修会



新潟県立看護大学 図書学生係主任 吉原貴子

にこナーズ

正式名称：新潟県立看護大学リポジトリ

英語名称：Niigata College of Nursing Repository

略称：NICONURS

愛称：にこナーズ

愛称は情報化推進本部員の原准教授の提案で命名。他大学からも「素敵」「カワイイ」と評判がいい。

**文献を読んでほしい人と読みたい人両者が
「にこ(^_^)」とするリポジトリ**

“リポジトリ”について

- リポジトリとは

大学及び研究機関等において生産された電子的な知的生産物を収集・保存し、原則的に無償で公開・発信するためのインターネット上の学術情報資源管理システム

- 背景

- 雑誌の危機（Serials Crisis）
- **オープンアクセス**運動

学術研究の成果へ誰もが障壁なくアクセスできるようにする

- オープン・アクセス・ジャーナル
- セルフ・アーカイビング

平成22年度NII学術ポータル研修 三角太郎「機関リポジトリ概論」

<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/portal/h22/txt3-e.pdf>

にこナースの歩み

- 平成20年10月23日 図書委員会主催研修会
「研究成果と学術リポジトリ」開催
- 平成21年 6月 新潟県立看護短期大学紀要の
電子化が図書委員会で決定
- 平成21年 7月末 新潟県地域共同リポジトリ
へ参加申請 ⇒ 12月に承認
- **大学の紀要が無い**
- **短大紀要の著作権処理だけで手いっぱい**
などの理由で、**機関ではリポジトリを持たずに、
共同で始めるつもりだった・・・**

にこナースの歩み

一方・・・

- 平成22年度 看護研究交流センター地域課題研究「新潟県立看護大学の機関リポジトリ構築の試み」が採択
- 平成21年11月 図書館長、地域課題研究班連名「新潟県立看護大学リポジトリの構築について」（要望書）が情報化推進本部に提出
- 平成22年 1月 緊急雇用創出事業

急速、機関リポジトリを立ち上げることに

にこナースの歩み

- 平成22年 4月 試験公開
運用指針作成、パブリックコメント
- 平成22年12月1日 正式公開
約650件登録（平成23年1月現在）
<http://repository.niigata-cn.ac.jp/dspace/>
公立看護大学唯一の機関リポジトリ
（平成23年1月現在）
- 平成23年2月1日
新潟県地域共同リポジトリにハーベスト
- 今後の予定 ・ ・ ・ JAIRO

にこナースの中身

本学で生成された研究成果・教育資源

具体的な資料種別としては(リポジトリ運用指針より)

- ① 学術論文
- ② 調査・研究報告書
- ③ 学会・会議等の発表資料
- ④ 修士学位論文又はその要旨
- ⑤ 授業で使用した教材
- ⑥ 一般雑誌論文もしくはは新聞記事

例) 看護大学通信

- ⑦ 本学刊行物

例) 入学案内、ポルティコの広場、図書館だよりetc

にこナーズの中身

本文ありデータの内、

- 短大紀要論文
学長特別研究費報告書論文
センター一年報論文 40%
- 新聞記事・年報記事 5%
- 広報資料 50%



にこナースのおかげで

- 研究成果に容易にアクセスできる
 ➔ 読みたいと思っている人へ届く
- 掲載雑誌が高くて購読できなくても、本学研究者の論文が読める
- 研究業績の蓄積・管理ができる
 後世に継承 映像も音楽も保存可能
- 大学の説明責任・社会貢献が果たせる
- 大学の宣伝 認知度、ブランドカUP

なぜ共同ではなく機関に？

- 予算的・人的な不安が軽減
 - 緊急雇用創出事業で予算が付いた
 - リポジトリシステム (Dspace)が導入済
 - 関係教員の積極的な働きかけ
 - システム面で情報科学教員からサポート
- 機関リポジトリなら “新潟県立看護大学” として特色ある研究・教育活動をなんでも公開できる!研究者や大学が公開したいものを公開できる! (運用指針はありますが)
- 公立・単科で機関リポジトリを持つ大学が少

アクセス統計

平成22年12月 ダウンロード 1256

高頻度利用アイテム 2010-12		
順位	資料名	ダウンロード
1	"本学の現状と課題：平成14年度～16年10月に至る本学の自	45
2	緩和ケアにおける看護師の役割と多職種との協働	36
3	新潟県立看護大学自己点検評価報告書	31
4	"老人観"に関する研究の問題	30
5	上越地域における快適で安心な住まい環境に関する研究：快適住まい環境研究会の7年間のあゆみ	29

1,3位は自己点検評価報告書、2位は修士論文、
4位は紀要論文、5位は学内研究会活動報告書

何をすればいいか？

- 研究成果や著作物をにこナースに登録しましょう
 - 電子ファイルと登録申請書を図書館へ提出
 - 共著者から許諾を取っておいて下さい
 - **登録作業は図書館におまかせください**
 - 教員の協力が不可欠です
 - 新しいデータが入らなければ見てもらえない
 - 研究業績データベースとして？講義に活用？
- にこナースは発展途上。生かすも殺すも・・・**